

令和元年度 調査研究報告書

特別区における 小地域人口・世帯分析及び 壮年期単身者の現状と課題



特別区長会調査研究機構

Kuchokai
Institute for Research and Study

はじめに

特別区23区長が組織する特別区長会は、平成30（2018）年6月15日、特別区長会調査研究機構を設置しました。

その設立趣旨は、特別区及び地方行政に関わる課題について、大学その他の研究機関、国及び地方自治体と連携して調査研究を行うことにより、特別区長会における諸課題の検討に資するとともに、特別区の発信力を高めることにあります。

平成31（2019）年4月から各区より寄せられた特別区の行政運営に資する課題について、学識経験者・特別区職員が研究員となり、プロジェクト方式で調査研究を行いました。いずれのテーマも、特別区の課題解決を中心に据えながら、広く他の自治体の課題解決の一助となることや国及び他自治体との連携の可能性も視野に入れ研究に取組みました。

本調査研究報告書は、令和元（2019）年度の1年間の調査研究成果を取りまとめたものであり、特別区調査研究機構設立後、初の成果の公表となります。特別区政の関係者のみならず、地方自治体のみなさま、学術研究の場など多方面でご活用いただけけると幸いです。

最後に、調査等にご協力いただいた地方自治体関係者の皆様、民間企業の皆様をはじめとして、報告書完成までにご協力をいただきました全ての方に深く御礼申し上げます。

特別区長会調査研究機構

令和2年3月

目 次

第一部 特別区の人口と世帯：特別区の居住ダイバーシティ

I	居住ダイバーシティの視点	8
1.	居住を構成する要素とその変動	8
2.	分析方法	9
II	東京圏における東京区部の居住特性とその変化	10
1.	東京区部の長期的な人口変化	10
2.	東京区部の人口動態	12
3.	性・年齢構造	14
4.	世代間関係	18
5.	未婚化の進展	21
6.	未婚者の世帯形成	23
III	東京都市圏における未婚者の居住状況の地域的差異に関する研究	28
1.	壮年後期の未婚単独世帯主率の地域的差異	29
2.	壮年後期の未婚・親と子からなる世帯の非世帯主人員割合	30
3.	壮年後期で民営借家に居住する未婚単独世帯主率	31
4.	壮年後期で民営借家に居住する未婚・親と子からなる世帯の非世帯主人員割合	32
IV	参考図表 東京都市圏市区町村別分析 —1985年と2015年の比較—	33

第二部 特別区の壮年期単独世帯の実態

I	調査の概要	66
1.	調査の目的	66
2.	調査の方法	67
3.	回収結果	67
4.	報告書を読む際の留意点	68
5.	各区の人口構成と本調査の回答者の基本属性	69
(1)	国勢調査による各区の人口構成	69
(2)	国勢調査による各区の単身者の男女比	72
(3)	本調査の基本属性	72
(4)	就業状況	74
(5)	くらしの状況	78

目次

II 調査の結果.....	82	7. 地域との関係.....	113
1. 居住歴.....	82	(1) 近所で過ごす場所.....	113
(1) 居住年数.....	82	(2) 参加している地域の団体・集まり	115
(2) 転入前の居住地.....	83	(3) 地域活動への参加のきっかけ.....	116
(3) 中学校時の居住地.....	84	(4) 地域活動への参加意向.....	118
(4) 転入のきっかけ.....	85	8. 一人暮らしのライフスタイル.....	119
(5) 転入時の世帯形態.....	86	(1) 災害への備え.....	119
(6) 定住意向.....	87	(2) 災害時に頼れる近隣の人.....	120
(7) 一人暮らしのきっかけ	88	(3) 休日の過ごし方.....	122
(8) 一人暮らしの期間.....	89	(4) 一人暮らしで困ること	130
(9) 一人暮らしの継続意向	90	9. 食生活と健康.....	132
2. 住宅.....	91	(1) 夕食の内容.....	132
(1) 住宅形態.....	91	(2) 食生活や健康面で気を付けていること	134
(2) 住宅の所有名義.....	92	(3) 健康状態.....	135
(3) 住宅の床面積.....	93	(4) 1か月の心の状態.....	136
3. 親との関係.....	94	(5) 病気や怪我、介護時の身の回りの世話.....	137
(1) 両親の年齢.....	94	(6) 孤独死の不安.....	139
(2) 両親の健康状態.....	95	10. 結婚について.....	140
(3) 親の居住地.....	97	(1) 結婚状態.....	140
(4) 親の住まいまでの移動時間	98	(2) 結婚していない理由.....	141
(5) 親との連絡頻度.....	99	11. 高齢期について	143
(6) 親の介護担当者.....	100	(1) 高齢期の不安.....	143
4. 兄弟・姉妹との関係.....	101	(2) 高齢期の経済的備え	145
(1) 兄弟・姉妹の人数.....	101	(3) 高齢期の生計を支える収入	146
(2) 最も親しい兄弟・姉妹の居住地	102	(4) 高齢期の住まい方.....	147
(3) 兄弟・姉妹の住まいまでの移動時間	103	12. 区政への要望	149
(4) 兄弟・姉妹との連絡頻度	104	(1) 区政への要望.....	149
5. 子どもの関係.....	105	III 調査結果から明らかになったこと	151
(1) 子どもの人数.....	105	研究体制	157
(2) 子どもの連絡頻度	106	活動実績	157
6. 友人・知人の関係.....	108	執筆担当	157
(1) 友人・知人の多寡	108	アンケート調査委託	157
(2) 友人・知人の種類	109	資料編	
(3) 時間を共有する相手	110	1. 調査票	160
		2. 集計結果.....	181